

岡山市建築設計業務委託仕様書

事業名 岡山市新庁舎周辺施設整備事業

岡山市総務局総務部新庁舎整備課

第1 総則

この仕様書（以下「設計仕様書」という。）は、岡山市（以下「発注者」という。）が発注する岡山市新庁舎周辺施設整備事業（以下「本事業」という。）に係る設計業務の委託を適正かつ円滑に遂行するため、発注者と本事業を受注した者（以下「受注者」という。）との設計業務の委託に関し必要な事項を定める。

第2 設計業務委託仕様

1 一般事項

(1) 適用範囲

設計仕様書は、岡山市が発注する本事業の設計業務（以下「設計業務」という。）の委託に適用する。

(2) 設計仕様書に係る疑義等の扱い

設計仕様書と、要求水準書に記載の「要求水準書 資料一覧」に示す「岡山市建築設計業務委託要領」は、相互に補完するものとする。

設計仕様書に明示のない場合又は設計仕様書に示す業務内容に疑義を生じた場合は、受注者は発注者と協議し、双方誠実に解決を図るものとする。

2 委託業務の内容及び範囲

(1) 設計業務の内容

本事業における設計業務の内容は、別添の「建築設計業務委託内容（1. 敷地・計画建築物の概要、2. 基本計画・基本設計）」のとおりとする。

(2) 設計業務の範囲

本事業における設計業務の業務範囲は次に掲げるとおりとする。

① 基本設計

ア 一般業務

一般業務の範囲は、令和6年国土交通省告示第8号（以下「告示第8号」という。）別添一第1項に掲げる下記項目のうち☑を付した項目とし、その一部を受注者が行わない業務は、対象外業務欄に☑を付した項目とする。

☑基本設計（業務内容は告示第8号別添一第1項に掲げる標準業務内容とする）

項 目		対 象 外 業 務
☑設計条件等の整理	☑条件の整理	□条件の整理のうち、発注者（監督員）が整理する業務
	☑設計条件の変更等の場合の協議	□設計条件の変更等の場合の協議のうち、発注者（監督員）が協議する業務
☑法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合せ	☑法令上の諸条件の調査	□法令上の諸条件の調査のうち、発注者（監督員）が調査する業務
	☑計画通知に係る関係機関	□計画通知に係る関係機関との打合せのうち、発注者

	との打合せ	(監督員) が打合せする業務
<input checked="" type="checkbox"/> 上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況の調査及び関係機関との打合せ		<input type="checkbox"/> 上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況の調査及び関係機関との打合せのうち、発注者（監督員）が調査及び打合せする業務
<input checked="" type="checkbox"/> 基本設計方針の策定	<input checked="" type="checkbox"/> 総合検討	<input type="checkbox"/> 総合検討のうち、発注者（監督員）が検討する業務
	<input checked="" type="checkbox"/> 基本設計方針の策定及び発注者への説明	<input type="checkbox"/> 基本設計方針の策定及び発注者（主管課）への説明のうち、発注者（監督員）が策定及び説明する業務
<input checked="" type="checkbox"/> 基本設計図書の作成		<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 概算工事費の検討		<input type="checkbox"/> 概算工事費の検討のうち、発注者（監督員）が検討する業務
<input checked="" type="checkbox"/> 基本設計内容の発注者への説明等		<input type="checkbox"/> 基本設計内容の発注者（主管課）への説明等のうち、発注者（監督員）が説明する業務

以下の資料作成業務のうち、☒を付した業務は一般業務の範囲に含むものとする。

- ☒ 設計内容の説明等に用いる資料等（☐簡易な透視図、☒日影図、☒各種技術資料）の作成
- ☒ 計画通知・大臣認定等、委託業務の対象となる工事の実施に当たり法令上必要となる各種の申請に用いる資料の作成
- ☒ 工事費概算書の作成
- ☒ 保守管理費概算書の作成
- ☒ 概略工事工程表の作成

イ 業務内容

業務の内容及び範囲は、以下のとおりとする。

- ・透視図作成（鳥観図及び外観(5面)）
- ・動画の作成 ※別添2 参照
- ・VR データの作成及び操作アプリケーションの構築 ※別添2 参照
- ・数値流体解析等を用いた風環境調査及び報告書作成 ※別添3 参照
- ・適切な省エネ・創エネ手法の情報収集・比較検討（コスト・性能など）等を含めたZEB実現のための設計業務（補助金申請に係る検討及び関係資料の作成含む）
- ・施設管理基本方針の作成 ※別添4 参照
- ・施設の長期維持・保全計画の作成（保守管理費概算書の作成含む）
- ・被災時の市民の一時避難等に対応できる空間、設備の検討
- ・雨水貯留（雨水排水計画・雨水再利用を含む）についての検討
- ・新庁舎建設に伴い移設が必要な周辺インフラ整備（上下水・電気・ガス・通信等）のための関係機関との協議及び資料の作成
- ・基本設計概要書の作成（A3 サイズ、10～20 枚程度）
- ・市内部の意思決定のための資料作成
- ・議会・委員会・住民説明・広報活動用の資料作成
- ・岡山市設計支援委員の意見を聴く会の資料作成・出席
- ・庁内会議等の開催支援

- ・ 市民意見等の集約支援
- ・ 周辺道路の設計（警察・道路管理者との協議、交通解析及び資料作成含む）
- ・ 設計業務に関する地質調査、測量調査
- ・ 要求水準書に示す設計業務の内容

② 実施設計

ア 一般業務

一般業務の範囲は、令和 6 年国土交通省告示第 8 号（以下「告示第 8 号」という。）別添一第 1 項に掲げる下記項目のうち☑を付した項目とし、その一部を受注者が行わない業務は、対象外業務欄に☑を付した項目とする。

☑実施設計（業務内容は告示第 8 号別添一第 1 項に掲げる標準業務内容とする）

項 目		対 象 外 業 務
☑要求等の確認	☑発注者の要求等の確認	☐発注者（主管課）の要求等の確認のうち、発注者（監督員）が確認する業務
	☑設計条件の変更等の場合の協議	☐設計条件の変更等の場合の協議のうち、発注者（監督員）が協議する業務
☑法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合せ	☑法令上の諸条件の調査	☐法令上の諸条件の調査のうち、発注者（監督員）が調査する業務
	☑計画通知に係る関係機関との打合せ	☐計画通知に係る関係機関との打合せのうち、発注者（監督員）が打合せする業務
☑実施設計方針の策定	☑総合検討	☐総合検討のうち、発注者（監督員）が検討する業務
	☑実施設計のための基本事項の確定	☐実施設計のための基本事項の確定のうち、発注者（監督員）が確定する業務
	☑実施設計方針の策定及び発注者への説明	☐実施設計方針の策定及び発注者（主管課）への説明のうち、発注者（監督員）が策定及び説明する業務
☑実施設計図書の作成	☑実施設計図書の作成	☐
	☑計画通知図書の作成	☐
☑概算工事費の検討		☐概算工事費の検討のうち、発注者（監督員）が検討する業務
☑実施設計内容の発注者への説明等		☐実施設計内容の発注者（主管課）への説明等のうち、発注者（監督員）が説明する業務

以下の資料作成業務のうち、☑を付した業務は一般業務の範囲に含むものとする。

- ☑設計内容の説明等に用いる資料等（☐簡易な透視図、☑日影図、☑各種技術資料）の作成
- ☑計画通知・大臣認定等、委託業務の対象となる工事の実施に当たり法令上必要となる各種の申請に用いる資料の作成
- ☑工事費概算書の作成
- ☐保守管理費概算書の作成

□設計意図伝達業務(業務内容は告示第8号別添一第1項に掲げる標準業務内容とする)

項 目	対 象 外 業 務
□設計意図を正確に伝えるための質疑応答、説明等	□設計意図を正確に伝えるための質疑応答、説明等のうち、発注者（監督員）が検討、助言する業務
□工事材料、設備機器等の選定に関する設計意図の観点からの検討、助言等	□工事材料、設備機器等の選定に関する設計意図の観点からの検討、助言等のうち、発注者（監督員）が検討、助言する業務

イ 業務内容

業務の範囲は、下記項目のうち☑を付した項目とし、その一部を受注者が行わない業務は、対象外業務欄に☑を付した項目とする。

☑積算業務

項 目	対 象 外 業 務
☑積算数量算出書の作成	☑建築 ☑電気設備 ☑給排水衛生設備 ☑空気調和設備 ☑冷暖房設備 ☑換気設備 ☑昇降機械設備
☑単価作成資料の作成	☑建築 ☑電気設備 ☑給排水衛生設備 ☑空気調和設備 ☑冷暖房設備 ☑換気設備 ☑昇降機械設備
☑見積検討資料の作成 (見積の収集)	☑建築 ☑電気設備 ☑給排水衛生設備 ☑空気調和設備 ☑冷暖房設備 ☑換気設備 ☑昇降機械設備

☑計画通知（建築基準法第18条第2項）等関係業務

☑計画通知（建築基準関係規定（みなし規定を含む。）等に係る法令・条例に関する許認可等を含む。）に関する手続き及びこれに付随する詳細協議

- ☒構造計算適合性判定に関する手続き及びこれに付随する詳細協議
- ☒省エネ適合性判定計画通知に関する手続き及びこれに付随する詳細協議
- ☐「岡山市中高層建築物に関する指導指針」に関する手続き（標識の設置を含む）及びこれに付随する詳細協議
- ☒全館避難安全検証の再検証及び仮使用認定に関する手続き及びこれに付随する詳細協議

☒透視図等作成業務

- ☒透視図作成（☒鳥瞰図 ☒外観(5面) ☐内観(面)）
- ☐模型作成

☒その他の業務

- ☒概略工事工程表作成
- ☒基本設計に示された内容の更新
- ☒要求水準書に示す設計業務の内容

3 設計業務の実施

(1) 業務の遂行

受注者は、業務の履行にあたり要求水準書及び設計仕様書に記載された①建築物に要求される性能・機能を熟知し、更に監督員(建設工事請負契約書（以下「契約書」という。）第26条に規定する監督員をいう。以下同じ。）と②工事費概略限度額③事業(設計・工事施工)執行予定スケジュール等につき協議したうえで、基本・実施設計業務遂行の方針・体制等を定めた設計業務計画書を策定し、監督員に提出し承諾を得ること。業務着手後は設計業務計画書に基づき業務履行に専念すること。なお、管理技術者（設計）及び設計担当者について建築士法に基づく建築士免許証、定期講習修了証の写し等を提出すること。

(2) 法令の遵守

受注者は、建築基準法（岡山市建築基準法施行条例及び岡山市中高層建築物に関する指導指針等を含む。）、建築士法、都市計画法、消防法、水道法、下水道法、電気事業法、ガス事業法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設リサイクル法、労働安全衛生法、バリアフリー法、建築物省エネ法、公営住宅法、学校教育法、大気汚染防止法、石綿障害予防規則、公共工事の品質確保の促進に関する法律、景観法(岡山市景観条例を含む)、岡山県福祉のまちづくり条例、岡山市浸水対策の推進に関する条例等の関係法令・条例等を遵守し、業務を遂行すること。

(3) 適用する技術基準等

受注者は、(別紙1)に記載する最新の基準類に準じ設計業務を実施すること。なお、必要に応じて基準を加除する。

受注者は、本仕様書において適用される基準類に抛りがたい特殊な工法、材料又は製品等を採用しようとする場合は、あらかじめ監督員と協議のうえ承諾を得ること。

(4) 監督員との協議等

監督員は、当仕様書に定められた範囲において、受注者に対する指示、承諾又は協議を行う。

受注者は、監督員と密接に連絡をとりつつ、設計業務計画書に基づき設計業務を遂行すること。

なお、当該建築設計委託業務の設計変更(契約変更)又は内容変更に係る事項については、事前に監督員と協議のうえ、変更理由・変更内容等を明記した「業務打合簿」を監督員に提出し発注者の承諾を得ること。

(5) 提出書類

受注者は、下記の書類を指定の時期に監督員に提出すること。提出部数は各 1 部とする。

(※ (A4) 及び様式 0 は 2 通作成、発注者、受注者、各自 1 通保有)

名称		書式	提出時期	備考
重要事項説明書（建築士法第 24 条の 7）		※ (A4)	契約時	※四会推奨標準様式による
建築士法第 22 条の 3 の 3 に定める記載事項		様式 0	契約時	延べ面積＞300 ㎡の新築、増築、改築、大規模の修繕・模様替えの場合
建築士法第 24 条の 8 に定める記載事項		任意	契約後	上記に該当しない場合
着手届		契①	業務着手前	
業務工程表		契②		
管理技術者等通知書		契③		
業務計画関係書類	建築設計業務計画書	様式 1 (表紙)	業務着手前	様式 1-1～様式 1-6 は様式 1 業務計画書の別紙
	1. 業務遂行方針	様式 1-1		
	2. 建築設計担当者名簿・協力設計事務所名簿	様式 1-2		
	3. 管理技術者保有資格経歴	様式 1-3		
	4. 設計担当者保有資格経歴	様式 1-4		
	5. 手持業務量一覧表	様式 1-5		
	6. 建築設計実施工程表	様式 1-6		
	建築設計担当者変更届	様式 2	担当者変更時	
委託業務完了通知書(兼検査依頼書)		契④-1	業務完了時	岡山市委託業務検査規程 (複数年度契約のとき) (部分払いがあるとき)
(委託業務完了通知書…(〇〇年度分))		契④-2	年度末	
(委託業務部分完了通知書(兼検査依頼書))		契④-3		
業務報告書	成果物一覧表	様式 3	業務完了時	
	部分完了成果物一覧表	様式 4	業務部分完了時	(部分引渡しがあるとき)
	成果物写真	様式 5	業務完了時	
	業務打合簿	様式 6	随時	設計変更・内容変更に係る事項等につき記載 (実施設計基本案等の提出物を含む)
	建築設計業務打合記録書	様式 7	随時	上記以外の重要事項につき記載
	成果物引渡書	様式 8	完了検査合格後	
	成果物部分引渡書	様式 9	部分完了検査合格後	(部分引渡しがあるとき)
その他監督員が指示するもの				

【参考】請求書様式

前金払請求書	契⑤	前金払保証手続き完了後	保証完了を証する書類(写)添付
部分払金請求書	契⑥	請求に係る出来高部分確認後	(部分払いがあるとき)

(6) 関係機関等との打合せ等

受注者は、関係機関等と打合せを行うときは、内容について事前に監督員と協議すること。

また、打合せの内容及び結果について、重要事項については「設計業務打合記録書」に記録し、速やかに監督員に報告すること。

(7) 再委託

ア 受注者は、委託業務の全部を一括して、又は設計仕様書において指定をした主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。「設計仕様書において指定した主たる部分」とは、設計業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術判断をいう。

イ 受注者は、業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ、発注者の承諾を得なければならない。ただし、発注者が設計仕様書において指定した軽微な部分を委任し、又は請け負わせようとするときは、この限りでない。「設計仕様書において指定した軽微な部分」とは、コピー、ワープロ、印刷、製本、計算処理（構造計算、設備計算及び積算を除く）、トレース、CAD、資料整理、透視図・模型作成等の簡易な業務をいう。

ウ 受注者が再委託する場合において、受注者は、発注者に協力設計事務所名簿を提出するとともに、協力設計事務所に対し適切な指導、管理のもとに設計業務を遂行すること。

(8) その他

・アスベスト含有建材の調査等（既存解体撤去・既存改修時）

石綿障害予防規則、大気汚染防止法等に基づきアスベスト含有建材に係る調査を行い、報告書を作成、提出すること。（建築設計業務委託要領「法規等チェックリスト」参照） また、成分分析が必要と思われる場合は、速やかに監督員に報告すること。

仕上塗材についても、設計図書や現地確認目視調査により仕上塗材の種類と年代を確認し アスベスト含有の可能性がある場合は、速やかに監督員に報告すること。

アスベスト含有が確認された場合は、処理に係る施工性、工期、費用等の比較検討を行い、処理工法を選定のうえ、処理費を概算工事費に計上すること。

・インハウス VE

受注者は、VE(Value Engineering)の手法を用いて経済的設計に努めるものとし、その過程におけるコスト縮減に係る検討内容や作成した比較検討表を監督員に提出・提案、協議のうえ、設計業務を進めること。なお目標コスト内に収めることを厳守し、設計が進んだ段階で目標コスト内に収まらないことが判明した場合には、構造計画の見直しも含めたコスト縮減を行うこと。

・岡山市景観デザイン指針

受注者は、「公共事業のための岡山市景観デザイン指針」の趣旨を踏まえ、設計を行うこと。

景観デザインチェックシートの作成を要する場合は、監督員と十分協議のうえ作成すること。

・計画通知について

本委託では計画通知書（添付図書一式を含む）の作成及び申請・修正業務を含んでおり、そのために必要な期間も履行期間に見込んでいる。計画通知等の手続きが遅れることのないよう十分に注意して業務を行うこと。

・ワンデーレスポンスについて

監督員及び受注者は、ワンデーレスポンス※に努めること。

※ワンデーレスポンスとは、問い合わせ等に対して、1日あるいは適切な期限までに対応することをいう。なお、1日での対応が困難な場合などは、いつまでに対応するかを連絡するなど、速やかに何らかの対応をすることをいう。

・ウィークリースタンスの推進

（1）本業務は、ウィークリースタンス（受発注者間で設計業務等の業務環境を改善し1週間における就業環境改善の取組）の対象業務であるため、以下の①～⑨について受発注者の協力のもと取組むものとする。

- ① 月曜日（休日明け）を依頼の期限日としない。
- ② ノー残業デー（水曜日）は、勤務時間外の依頼及び16時以降に打合せはしない。
- ③ ノー残業デー（水曜日）に資料作成の依頼を行う場合は、翌日（木曜日）を期限日としない。
- ④ 金曜日（休前日）に新たな依頼をしない。
- ⑤ 資料作成等作業依頼を正規の勤務時間以外には行わない。
- ⑥ 打合せの開始時に終了時刻を定め、原則その時刻内に完了する。
- ⑦ 昼休みや午後5時以降開始の打合せをしない。
- ⑧ 作業内容に見合った作業期間を確保する。（休日等に資料を作成しなければならない状況が発生しないよう配慮する。）
- ⑨ その他、任意に設定。

（2）ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって「ウィークリースタンス推進チェックシート（初回打合せ時）」を基に決定する。取組期間については、初回打合せ時（実施内容を設定した日）から工期末までとする。

（3）受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。

（4）成果物納入時の打合せにおいて、実施結果（効果・改善点等）を受発注者双方で確認し、「ウィークリースタンス推進チェックシート（実施結果）」に記入し業務打合簿で提出し、共有する。

なお、「ウィークリースタンス推進チェックシート」の様式は岡山市監理検査課のホームページで入手できます。

4 工期について

（1）設計図書にかかる発注者の承諾を得る手続は、完成した設計図書から順次行うことができる。

委託業務完了通知書(兼検査依頼書)及び業務関係書類を提出するよう努めること。

5 成果物

設計業務の成果物は、下記☑のとおりとする。(別紙2「図面・資料リスト参照」)

- ☑基本設計図書
及び実施設計図書 ……意匠図、構造図、電気設備図、機械設備図、その他
同上電子ファイル CD-R
- ☑構造計算書 ……電子ファイル CD-R 共(業務委託要領第3章参照)
- ☑工事費概算書
- ☑概略工事工程表
- ☑工事見積書(工事設計書)
- ☑専門業者見積書等
- ☑透視図(☑鳥瞰図 ☑外観(5面) □内観(面))
- 模型
- ☑計画通知書等
- ☑構造計算適合性判定計画通知書
- ☑アスベスト処理工法検討書
- ☑省エネ適合性判定計画通知書
- ☑省エネ基準への適合性に関する説明書
- 岡山市中高層建築物に関する指導指針による建築計画書等
- ☑その他 ……基礎工法検討報告書<様式:別途>等
法規等チェックリスト(要領第1節 1参照)
業務内容に関する資料

(別紙1)

技術基準等

ア 建築意匠・構造

基準類名	発行元
建築設計基準及び同解説	公共建築協会
建築工事設計図書作成基準及び同解説	公共建築協会
建築構造設計基準	公共建築協会
建築工事標準詳細図	公共建築協会
建築基礎構造設計指針	日本建築学会
鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説	日本建築学会
鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算基準(案)・同解説	日本建築学会
壁式鉄筋コンクリート造設計・計算基準・同解説	日本建築学会
鋼構造設計基準・許容応力度設計法	日本建築学会
鋼構造塑性設計指針	日本建築学会
鋼構造限界状態設計指針・同解説	日本建築学会
各種合成構造設計指針・同解説	日本建築学会
木質構造設計基準・同解説	日本建築学会
木造計画・設計基準	公共建築協会
公共建築工事標準仕様書(建築工事編)	公共建築協会
公共建築木造工事標準仕様書	公共建築協会
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)	建築保全センター
建築工事監理指針	公共建築協会
建築改修工事監理指針	公共建築協会
建築構造工事監理指針	公共建築協会
岡山市学校鉄骨造校舎標準設計	岡山市
岡山市認定こども園鉄骨造園舎標準仕様書	岡山市
岡山市放課後児童クラブ標準仕様書	岡山市
岡山市有建築物の耐震化計画指針	岡山市
岡山市道路構造等条例	岡山市
岡山県建築物耐震対策等基本指針	岡山県
岡山県福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル	岡山県

イ 設備

基準類名	発行元
建築設備工事設計図書作成基準及び同解説	公共建築協会
建築設備計画基準	公共建築協会
建築設備設計基準	公共建築協会
建築設備耐震設計・施工指針	日本建築センター
建築設備設計計算書作成の手引	公共建築協会
公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(機械設備工事編)	公共建築協会
公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(機械設備工事編)	公共建築協会
公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(機械設備工事編)	建築保全センター
電気設備工事監理指針	公共建築協会
機械設備工事監理指針	公共建築協会

ウ 積算(建築・設備)

基準類名	発行元
公共建築工事積算基準・解説	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
公共建築工事共通費積算基準・解説	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
公共建築数量積算基準	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
公共建築設備数量積算基準	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部

(別紙2)

図面・資料リスト (下記対象業務☑で該当するもの)

☑基本設計 (一般業務・追加業務)

設計の種類		成果図書
1. 総合		基本設計説明書
		仕様概要書
		仕上概要書
		面積表及び求積図
		付近見取図 (1/2, 500 の都市計画図)
		配置図
		各階平面図
		断面図 (主要部分、矩計概略図)
		立面図
		外構計画図
		工事費概算書
		概略工事工程表
		各種技術資料
2. 構造		構造計画説明書
		構造設計概要書
		工事費概算書
3. 設備	i 電気設備	電気設備設計説明書
		電気設備設計概要書
		工事費概算書
		各種技術資料
	ii 給排水衛生設備	給排水衛生設備設計説明書
		給排水衛生設備設計概要書
		工事費概算書
		各種技術資料
	iii 空調換気設備	空調換気設備設計説明書
		空調換気設備設計概要書
		工事費概算書
		各種技術資料
	iv 昇降機械設備	昇降機械設備設計説明書
		昇降機械設備設計概要書
		工事費概算書
		各種技術資料
4. その他		基本設計追加業務 (P2, 3 参照) のうち、発注者 (監督員) の指示するもの

※建築 (構造)、電気設備及び機械設備の成果物は建築 (意匠) の成果物の中に入れることができる。

☒実施設計（一般業務）

設計の種類		成果図書
1. 総合		表紙・図面リスト
		特記仕様書
		工事区分表
		付近見取図（1/2, 500 の都市計画図）
		配置図
		仕上表
		面積表・求積図
		各階平面図
		各面立面図
		断面図
		矩計図
		展開図
		各階伏図
		平面詳細図
		部分詳細図
		建具表
		その他（家具、サイン等）
		外構図
		仮設計画図（参考図）
		各種計算書
2. 構造		計画通知等に必要な図書
		改修関係図
		解体関係図
		構造特記仕様書
		各階構造伏図（杭伏図を含む）
		軸組図
		部材断面リスト
		各部断面図
		標準詳細図
		各部詳細図
		各種構造詳細図（参考図）
		構造計算書
3. 設備	i 電気設備	計画通知等に必要な図書
		改修関係図
		解体関係図
		表紙・図面リスト
		特記仕様書
		付近見取図（1/2, 500 の都市計画図）
		配置図
		電灯設備図
		動力設備図

3. 設備	i 電気設備	電熱設備図
		雷保護設備図
		受変電設備図
		静止形電源設備図
		発電設備図
		構内情報通信網設備図
		構内交換設備図
		情報表示設備図
		映像・音響設備図
		拡声設備図
		誘導支援設備図
		テレビ共同受信設備図
		テレビ電波障害防除設備図
		監視カメラ設備図
		駐車場管制設備図
		防犯・入退室管理設備図
		火災報知設備図
		中央監視制御設備図
		構内配電線路図
		構内通信線路図
		電気設備設計計算書
		計画通知等に必要な図書
		改修関係図
		解体関係図
	ii 空調換気設備	表紙・図面リスト
		特記仕様書
		付近見取図（1/2, 500 の都市計画図）
		配置図
		機器表
		空調設備図
		換気設備図
		排煙設備図
		自動制御設備図
		冷暖房設備図
		屋外設備図
		空調設備設計計算書（換気・排煙共）
		冷暖房設備設計計算書
		計画通知等に必要な図書
		改修関係図
		解体関係図
	iii 給排水衛生設備	表紙・図面リスト
		特記仕様書
		付近見取図（1/2, 500 の都市計画図）

3. 設備	iii 給排水衛生設備	配置図
		機器表
		衛生器具設備図
		給水設備図
		排水設備図
		給湯設備図
		消火設備図
		厨房設備図
		ガス設備図
		合併浄化槽設備図
		屋外設備図
		給排水衛生設備設計計算書
		計画通知等に必要な図書
		改修関係図
		解体関係図
4. 昇降機械設備	昇降機械設備図（参考図）	
	搬送機械設備図（参考図）	
	計画通知等に必要な図書	
5. 資料	各種調査・検討資料	敷地現況測量図（簡易） 受電・給排水 敷地現況写真 基本案に基づく打合せ図面 その他（ ）
	各種技術資料	設計チェックリスト 法規等チェックリスト 基礎工法検討書 設備計算書 省エネルギー関係計算書 日影図 テレビ電波障害予測地域図 議案用図面 その他（ ）
	各記録書（打合記録書）	

※建築（構造）、電気設備及び機械設備の成果物は建築（意匠）の成果物の中に含めることができる。

※建築、電気設備及び機械設備の一括発注が予定されている場合は、表紙・図面リスト、付近見取図、配置図など重複する成果物は一にまとめることができる。

※設計図面、構造計算書の作成基準・要領については、「岡山市建築設計業務委託要領」（第3章）による。

☑実施設計（追加業務）

設計の種類	成果図書
6. 積算業務	工事見積書※
	数量積算書
	専門業者見積書（原則 3 者以上）
	見積比較書
	積算根拠（チェックシート）
	インハウス V E 提案書
7. 計画通知等関係業務	計画通知書等
	構造計算適合性判定計画通知書
	省エネ適合性判定計画通知書
	岡山市中高層建築物に関する指導指針による建築計画書等
8. 透視図等作成業務	透視図（C G 可 彩色 A 2 判）
	外観 （ 5 ） 面
	内観 （ ） 面
9. その他の追加業務	模型
	実施設計追加業務 (P4, 5 参照) のうち、発注者（監督員）の指示するもの

※工事設計書の様式「公共建築工事積算基準」で作成すること。

※共通費については、「公共建築工事共通費積算基準」によらず、必要な額を計上すること。

※専門業者見積書の徴収にあたっては、原則下記の要領で行うこと。

1. 見積書の書式は、原則として国土交通省の「公共建築工事見積書標準書式（設備編含む）」最新版によること。
2. 見積書の徴収時期は、工事発注時期を十分考慮し出来る限り直近とすること。
3. 見積書には法定福利費等（下請諸経費共）の内訳を明示したものを徴収すること。

<別添1>

項 目	内 容					
敷地の場所	岡山市北区大供一丁目地内ほか					
主 要 用 途	駐車場					
工 事 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築（計画変更による増築） <input type="checkbox"/> 増築(<input type="checkbox"/> 棟別新築 <input type="checkbox"/> 棟別増築) <input type="checkbox"/> 耐震改修 <input checked="" type="checkbox"/> 解体 <input type="checkbox"/> その他 （ ）					
敷 地 条 件 地域地区等	敷地面積 13,960.51 m ²					
	<input checked="" type="checkbox"/> 都市計画区域内 <input type="checkbox"/> 都市計画区域外 <input checked="" type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 市街化調整区域 用途地域 商業地域 建ぺい率 80+10=90% 容積率 500%/400%（加重平均 443%） 防火・準防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 準防火地域 <input type="checkbox"/> 法 22 条区域 その他 <input type="checkbox"/> 高度利用地区 <input type="checkbox"/> 地区計画 <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財包蔵地 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場附置義務条例適用地区 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車駐車場附置義務条例適用地区 <input type="checkbox"/> 風致地区 [] <input checked="" type="checkbox"/> 景観条例〔大規模行為〕 <input checked="" type="checkbox"/> 景観形成重点地区〔後樂園背景保全地区〕 <input checked="" type="checkbox"/> 公共下水道処理区域 <input checked="" type="checkbox"/> 都市ガス供給区域					
建築物概要	用途	構造・階数	延べ面積(m ²)	所要室	告示第 8 号別添第二	
					号	類
	駐車場	地盤特性や建物規模等から最も適切なものを選定すること	約 13,803	駐車場、備蓄倉庫、屋外便所、守衛小屋、共用スペース等	第一号	第 1 類
	庁舎広場	地盤特性や建物規模等から最も適切なものを選定すること	約 3,800 ※建築基準法による床面積ではない	広場、多目的スペース、屋外便所等	第四号	第 2 類
建築設備	電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電力設備 <input checked="" type="checkbox"/> 受変電設備 <input type="checkbox"/> 静止形電源設備 <input type="checkbox"/> 発電設備 <input checked="" type="checkbox"/> 通信情報設備 <input type="checkbox"/> 中央監視制御設備 <input type="checkbox"/> 医療関係設備 <input checked="" type="checkbox"/> 既存改修 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	機械設備	<input checked="" type="checkbox"/> 空気調和設備 <input checked="" type="checkbox"/> 自動制御設備 <input checked="" type="checkbox"/> 給排水衛生設備 <input type="checkbox"/> ガス設備 <input type="checkbox"/> さく井設備 <input type="checkbox"/> 浄化槽設備 <input checked="" type="checkbox"/> 既存改修 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	昇降機械設備	<input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> 機械式駐車設備 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
既 存 改 修		<input checked="" type="checkbox"/> 駐車場接続部、1 期工事サイン、西側進入路、周辺歩道				
外 構 工 事		<input checked="" type="checkbox"/> 構内舗装 <input checked="" type="checkbox"/> 構内排水 <input checked="" type="checkbox"/> 囲障 <input checked="" type="checkbox"/> 植栽 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車置場（台数の精査含む）				
解 体 撤 去		<input checked="" type="checkbox"/> 旧本庁舎解体（SRC 造・延べ面積 27,747 m ² 、地下 2 階地上 9 階建て）				
そ の 他		<input type="checkbox"/>				

VRデータの作成及び操作アプリケーションの構築について

1. 業務目的

本業務は、本事業における計画・設計検討、市民や関係者等への説明等において、周辺施設の建物及び外構計画の三次元デジタル空間を生成し、その空間を取り込んだVRコンテンツを制作することを目的とする。

2. 業務仕様

受注者は次に掲げる仕様に従い、計画の進捗に応じ、継続的にVRコンテンツ（動画出力含む）を作成及び修正すること。作成したVRコンテンツは成果品として市に納品すること。

2-1 計画対象区域内における汎用3次元デジタル空間データの作成

- (1) 計画建物外観と躯体のデータ作成

2-2 外構・周辺施設

- (1) 敷地周囲のデータ作成

住宅地図を元に敷地周囲約200メートルの建物データ及び岡山駅から新庁舎までの動線に隣接する建物データを作成する。地図から読み取れるレベルの精度とし、白箱ボリュームを配置し、離れた地点から庁舎がどのように見えるかを確認できること。また、景観上重要となる構造物について簡易表現を行い、位置整合をした上で配置すること。道路を隔てて隣接する周囲に現場写真のマッピングを施すこと。

- (2) 敷地内のデータ作成

庁舎前広場、公園、駐車場、歩車道、緑地、スロープなどの表現を行うこと。

- (3) 駐車場及び自転車等駐輪場を含めた鳥瞰による外部空間確認及び動線確認

- (4) 夜間照明イメージの作成と確認

2-3 機能・性能等

- (1) 一般的な機能を有するPC環境において、良好な動作でVRの操作ができること。
- (2) アプリケーションのインストール作業を必要とせず、メディアまたはPCに格納されたデータを直接開くことでVRの操作ができること。
- (3) インターネットでデータ通信を介することなく、スタンドアロン環境でVRコンテンツの全ての機能を使用できること。
- (4) 将来的な更新や機能拡張を考慮し、VRコンテンツの簡易な修正及び追加が可能であること。
- (5) 全体把握のための鳥瞰飛行及び利用者目線での空間確認・動線確認のためのウォークスルーがマウスのみの操作で自由にできること。
- (6) 日影の動的変化を連続的に表示できること。
- (7) シナリオのあるプレゼンテーションに対応する自動走行（アニメーション）機能を有する

こと（動画出力）。

- (8) 計画建物の外観及び内観を比較検討するためにデータを作成及び修正すること。
- (9) 計画の進捗に応じてデータの修正更新を可能にすること。
- (10) 基本設計及び実施設計の途中段階で、立体スクリーン又はこれ類する方法による実体験型のVR装置を用いた検証を、発注者立会いのもと複数回実施すること。
- (11) 庁内において、当VRの説明を求められた場合、対応できること。

数値流体解析による風環境調査について

1. 調査目的

本調査は、周辺施設（以下、計画建物と称す）新築によって生じる周辺地域の風環境の変化を、数値流体解析を主とした調査によって予測し、かつ現況の風環境との比較を含めて計画建物建設後の風環境を評価することを目的とする。

2. 調査場所

岡山市北区大供一丁目地内ほか

3. 調査概要

調査は以下の項目について行う。

- (1) 計画地上空の風の推定
- (2) 気流性状の予測
- (3) 風環境の予測および評価

3-1 計画地上空の風の推定

ここでの調査は数値流体解析および風環境予測を行う際の基礎資料とするものであり、以下の項目について行う。

- (a) 風向出現頻度
- (b) 風速出現頻度（風速累積頻度）
- (c) 平均風速の鉛直分布
- (d) 乱れ強さの分布

このうち、(a) (b)については、気象官署の観測記録を解析し定めることとし、(c) (d)については、計画地付近での観測データが無いため日本建築学会編建築物荷重指針・同解説によって推測することとする。

3-2 計画地周辺の気流性状の予測

本調査において計画建物周辺の風況を数値流体解析により予測するための計算手法は、 $k-\epsilon$ モデルとすること。解析は、入力気流の条件として前項で推測した平均風速の鉛直分布を用い行う。解析結果は、基準点(気象官署等)における観測高さ相当での風速（基準風速）と各測定点での風速の比（風速比）で整理すること。

解析における条件は以下のとおりとする。

- (1) 計算手法

標準 $k-\epsilon$ モデル

- (2) 模型化

解析では、計画地を中心とし、半径300m の範囲の街並みを再現する。模型作成に当たっては、現地に赴き調査を行い解析モデルに反映する。模型を作成する範囲内に、今後、

建設される建築物などが想定される場合は、作成の有無および形状の情報を含め、指示を受けるものとする。また、その建物の取扱についても協議の上で決定する。

(3) 入力気流

計算領域に入力する気流は、計画地で想定される自然の風の状況とする。平均風速と乱れ強さの鉛直分布を合わせる。

(4) 解析風向

解析風向は北北東、北東、東北東、東、東南東、南東、南南東、南、南南西、南西、西南西、西、西北西、北西、北北西、北の正16 方位とする。

(5) 予測結果

本解析によって得られる風速値は、x、y およびz 方向、それぞれの方向の平均風速である。

(6) 解析ケース

解析は、次のケースについて行うこととする。

Case 1 : 現況

Case 2 : 計画建物建設後

Case 3～ : 計画建物建設後+防風対策案等

防風対策案を3 ケース作成し、それ以上となる場合は協議とする。

3-3 計画地周辺の風環境の予測および評価

基準点でのデータおよび解析より求めた風速比を用い、各測定点の風速の発生頻度を求め、それにより、計画建物による風の影響度合いを検討し、風速の累積頻度を用い、風環境の評価を行うこと。

4. 業務実施スケジュール

業務実施スケジュールは、基本設計完了時及び実施設計完了時における予測・評価を基本とするが、詳細については発注者と受注者の協議により決定する。

5. 成果品

提出する成果品は次に示すものとする。

(1) 報告書A4 判、3 部

(2) 報告書の電子データ(メールもしくはCD-ROM)

6. その他

(1) 成果品の内容、テキスト、画像等の目的外の無断転載・無断使用を固く禁じるものとする。

(2) 受注者は業務により知り得た情報について外部に漏らさないこととする。

(3) 業務の目的を達成するために、本仕様書に明示されていない事項で必要な作業が生じたときは、発注者と受注者で協議を行い決定すること。

新庁舎施設管理基本方針及び管理計画の作成について

1. 業務目的

本業務は、周辺施設の管理・運営の観点から方針・方向性が決まった事項について整理するとともに、方針・方向性が未定の事項について方向性を明らかにし、開庁後における施設利用や管理・運営のイメージを示す「周辺施設管理基本方針」及び基本方針を具体化した「周辺施設管理基本計画」を作成することにより、新庁舎の経済的・効率的な管理・運営を実施することを目的とする。

2. 業務内容

以下の項目について、周辺施設の管理・運営についての方針・方向性の取りまとめを行う。
なお、項目については、必要に応じて発注者と受注者が協議の上、追加等行うこととする。

(1)管理・運営に関する基本的な方向性

(2)施設概要

(3)一般管理事項

ア セキュリティ

イ 来庁者案内

ウ ユニバーサルデザイン

エ 災害時の対応

(4)市民利用

ア 管理・運営の方向性

イ 屋根付き広場

(5)その他

ア 駐車場

イ 駐輪場

ウ エレベーター

エ トイレ

オ サイネージ

カ 植栽

3. 提出時期

- | | |
|-------------|----------------|
| ・周辺施設管理基本方針 | <u>基本設計完了時</u> |
| ・周辺施設管理基本計画 | <u>実施設計完了時</u> |